

統計の日

10月18日

統計調査へのご回答をお願いいたします。
政府では、**オンライン調査を推進**しています。



今を知り
未来つくろう
統計パワー

知ってくださいこのマーク
きっと役立つ統計調査



政府統計

総務省・各府省統計主管部局

「統計の日」は、国民の統計に対する関心と理解が深まり、国や地方自治体などが実施する統計調査へのより一層の協力が得られることを目的として、昭和48年に定められました。

農林水産統計の役割

農林水産統計は、**農政を支える「情報インフラ」**としての役割を担っており、①政策目標の設定と評価根拠、②需給安定対策等の施策の発動基準、③国の財政支出の算定根拠などに活用されています。

また、**「公共財」**としての役割を担っており、国民の皆様がどなたでも自由にご利用いただけます。

公共財としての農林水産統計

日本の食と農林水産業の現状はどうなっているの？



農林水産統計のデータは、だれでも利用できます！
農林水産省や中国四国農政局のホームページを見てみよう！
(報告書・政府統計の総合窓口 (e-Stat) など)



← 農林水産省「統計情報」

中国四国農政局「統計情報」→



◆作物統計調査(令和5年・全国)

水稻
収穫量: 716.5万t
10a当たり収量: 533kg
作況指数: 101

◆農業経営統計調査(令和4年・全国)

農業所得(個人経営体)
1経営体: 103.1万円
米生産費(個別経営体)
10a当たり全算入生産費: 128,932円

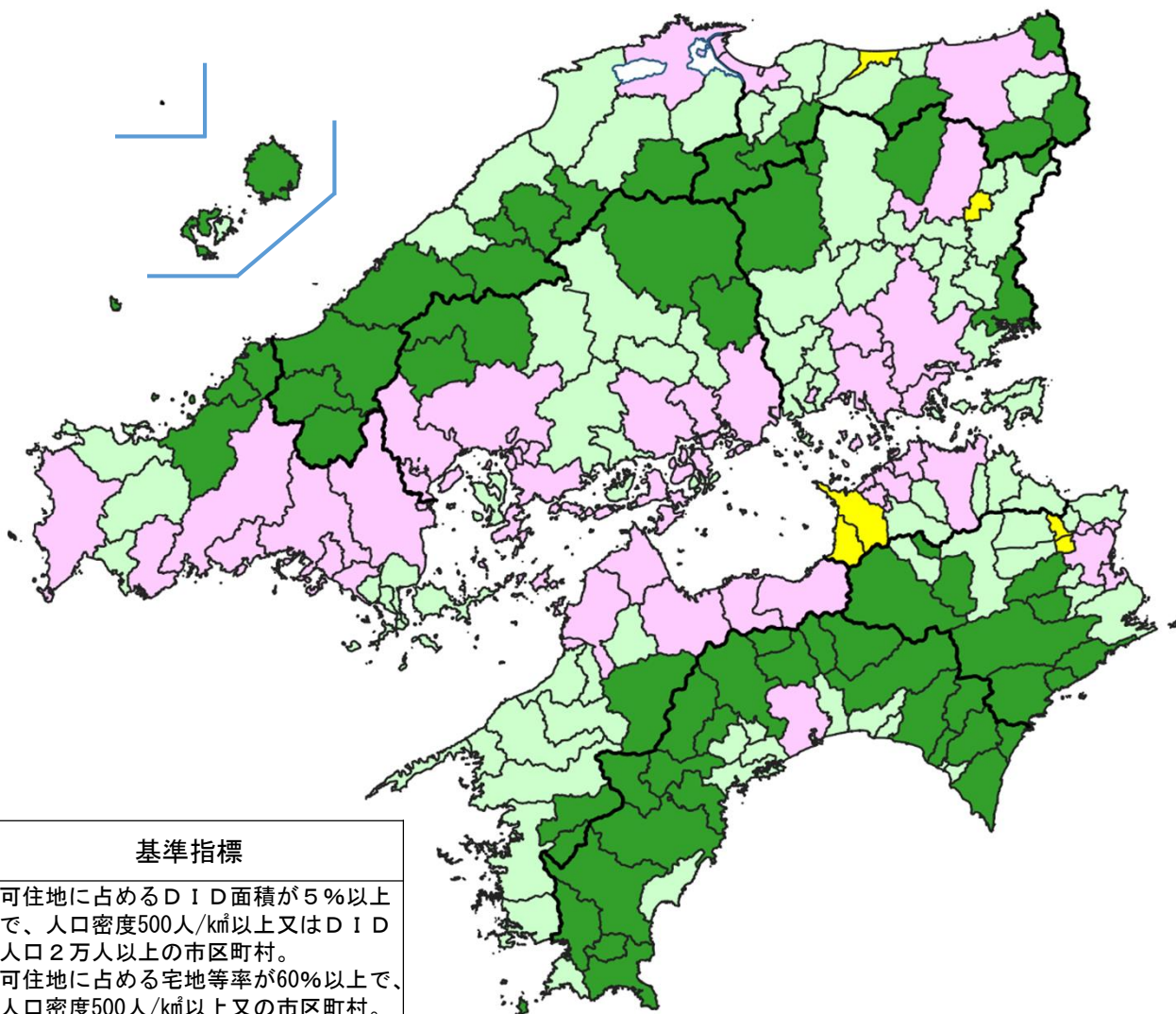
◆農林業センサス(令和2年・全国)

販売農家: 103万戸
個人経営体の
基幹的農業従事者: 136万人
(平均年齢: 67.8歳)

など

中国四国の農業地域類型区分 (市町村別)

農林統計では、全国の国土を4つの農業地域類型に区分しています。この区分でみると、中国四国地域は農業生産において条件不利とされる中間・山間農業地域が非常に多くなっており、全経営耕地面積の62.1%となっています。これは、全国平均の42.3%と比べて高い割合となっています。



農業地域類型区分	基準指標
都市的地域	○可住地に占めるD I D面積が5%以上で、人口密度500人/㎢以上又はD I D人口2万人以上の市区町村。 ○可住地に占める宅地等率が60%以上で、人口密度500人/㎢以上又は市区町村。ただし、林野率80%以上のものは除く。
平地農業地域	○耕地率20%以上かつ林野率50%未満の市区町村。ただし、傾斜20分の1以上の田と傾斜8度以上の畑との合計面積の割合が90%以上のものを除く。 ○耕地率20%以上かつ林野率50%以上で、傾斜20分の1以上の田と傾斜8度以上の畑の合計面積の割合が10%未満の市区町村。
中間農業地域	○耕地率が20%未満で、「都市的地域」及び「山間農業地域」以外の市区町村。 ○耕地率が20%以上で、「都市的地域」及び「平地農業地域」以外の市区町村。
山間農業地域	○林野率80%以上かつ耕地率10%未満の市区町村。

【農業地域類型区分の注意事項】

- ・ 農業地域類型区分は、令和5年改定版によります。
- ・ 農業地域類型区分の決定順位は、次のとおりです。
都市的地域 → 山間農業地域 → 平地農業地域・中間農業地域
- ・ 都市的地域の基準指標に用いられている「D I D」とは、Densely Inhabited Districtの略で人口集中地区のことです。
原則として人口密度が4千人/㎢以上の国勢調査基本単位区等が市区町村内で互いに隣接して、それらの隣接した地域の人口が5千人以上を有する地区をいいます。
- ・ 平地農業地域の基準指標に用いられている「傾斜」は、1筆ごとの耕作面の傾斜ではなく、ひとまとまりの耕地（団地）としての地形上の主傾斜をいいます。

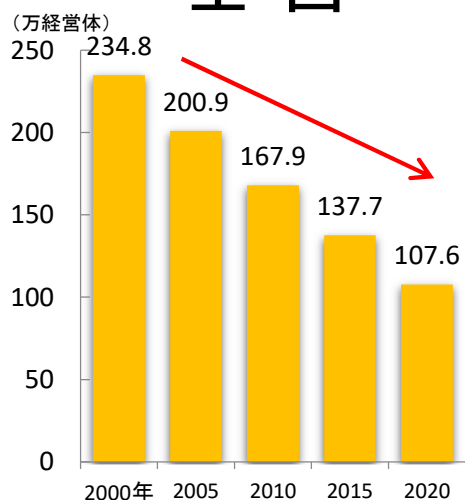
農業経営体数の推移

農業経営体数は、2000年から2020年の20年間で、全国、中国、四国ともに5割以上減少しています。

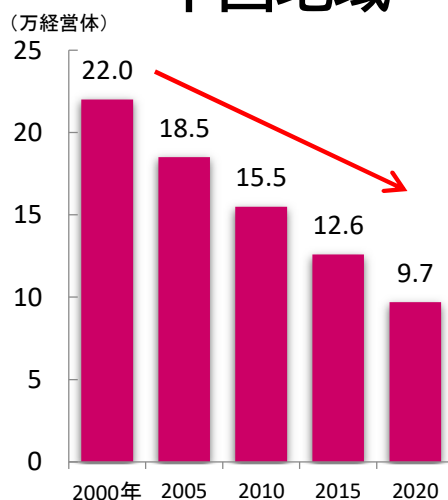
注) 2000年、2005年の農業経営体数は、当時の「販売農家数」、「農業生産等を行う組織経営体」及び「農作業受託のみを行う経営体」を積上げたものです。



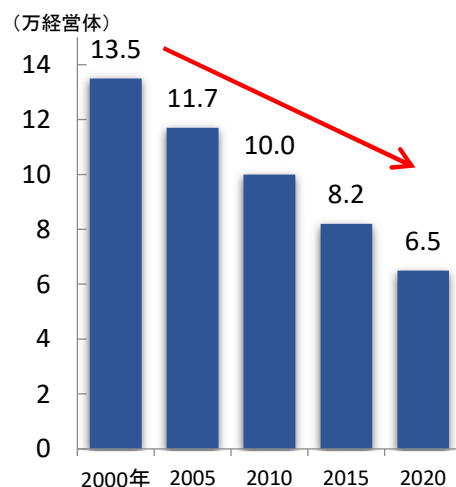
全 国



中国地域



四国地域

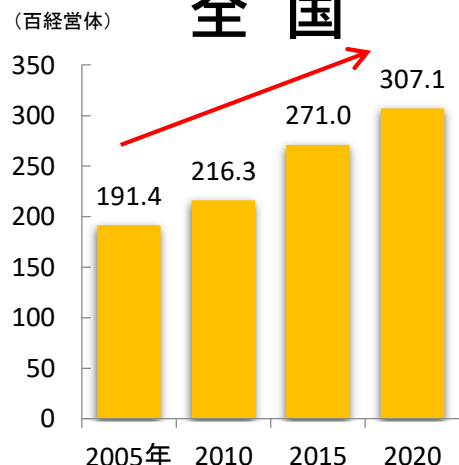


農業経営体のうち法人経営体の推移をみると…

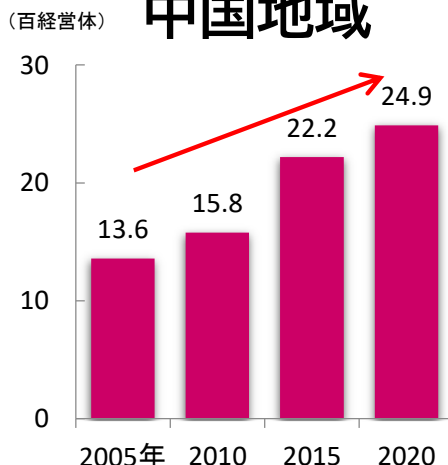
農業経営体数は上図のとおり減少していますが、農事組合法人、会社などの法人経営体数は、この15年間で、全国が6割、中国が8割、四国が5割程度増加しています。

年々増加!

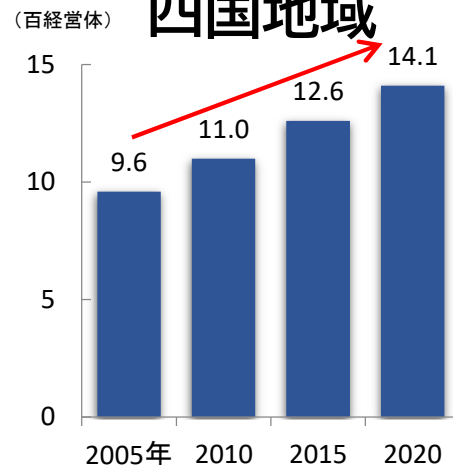
全 国



中国地域



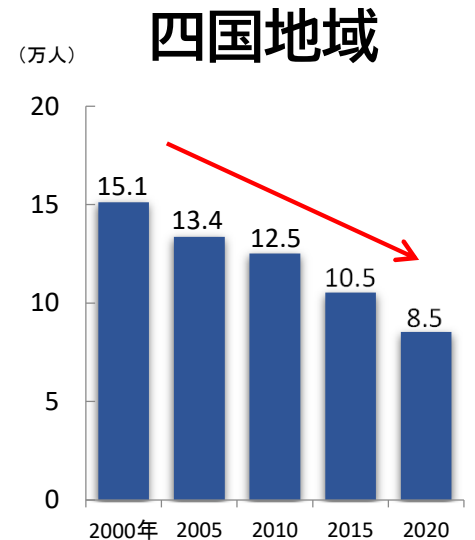
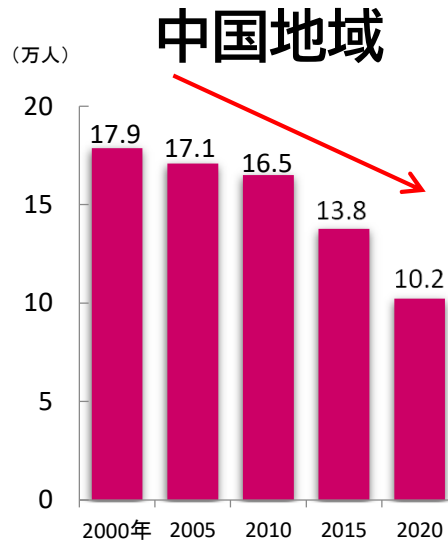
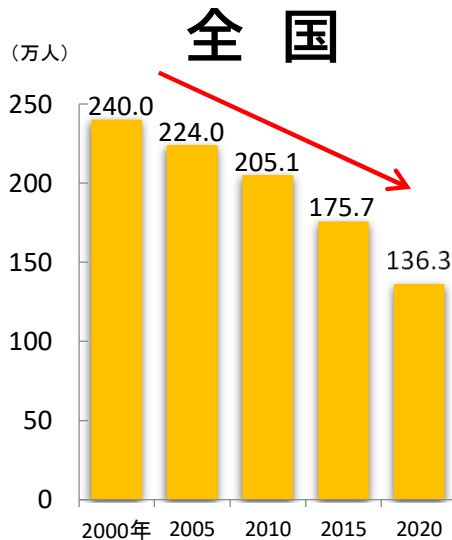
四国地域



農業従事者数の推移

基幹的農業従事者数は、2000年から2020年の20年間で、全国、中国、四国ともに約4割減少しています。

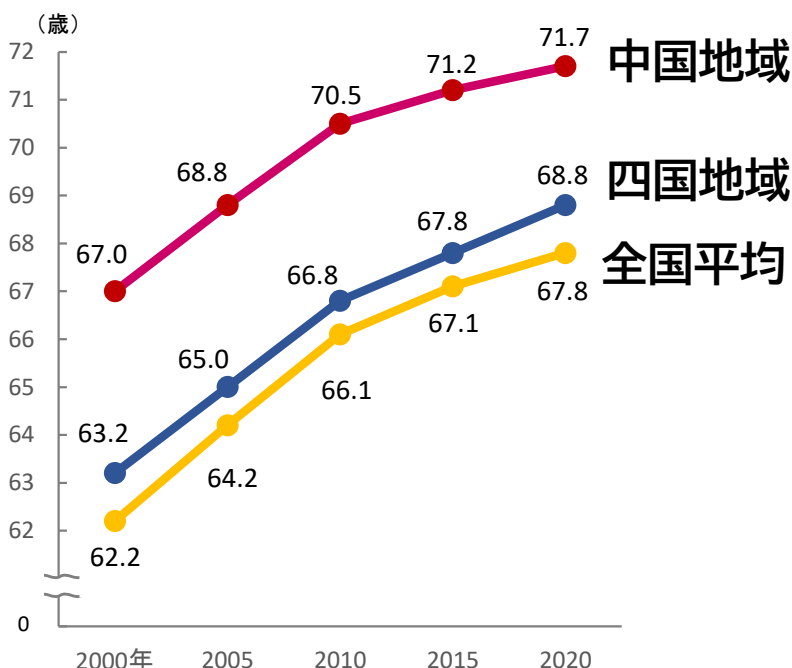
注) 2000～2010年は、当時の「販売農家」、2015年以降は「個人経営体」の基幹的農業従事者です。



基幹的農業従事者の年齢をみると…

高齢化が深刻！

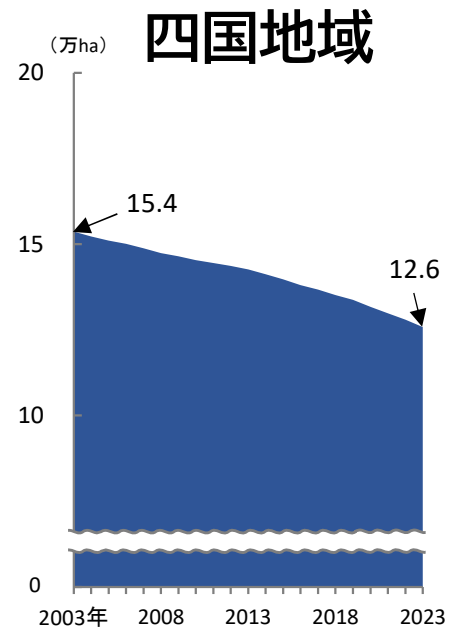
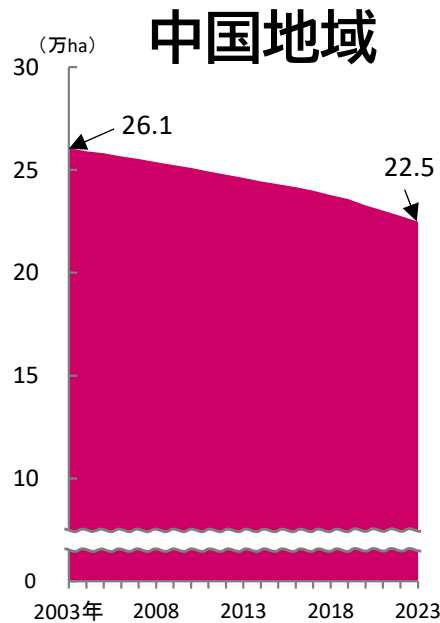
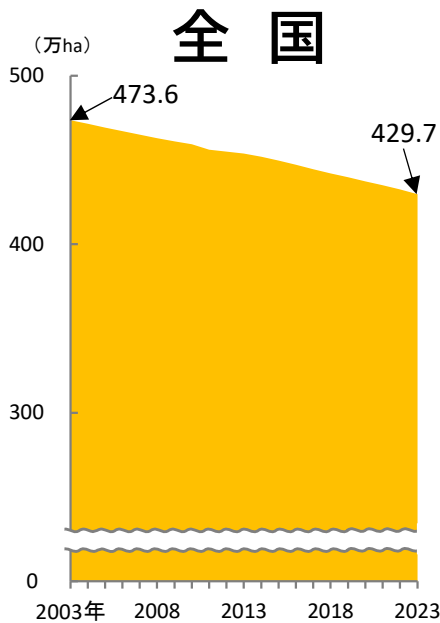
全国的に農業従事者の高齢化が進行しています。中国四国各県の平均年齢をみると、ほとんどの県で全国平均を上回っています。



県 名	基幹的農業従事者の平均年齢 (歳)
山 口	72.3
広 島	72.1
島 根	72.0
岡 山	71.5
香 川	71.3
鳥 取	70.9
愛 媛	69.3
徳 島	68.3
高 知	66.2
全国平均	67.8

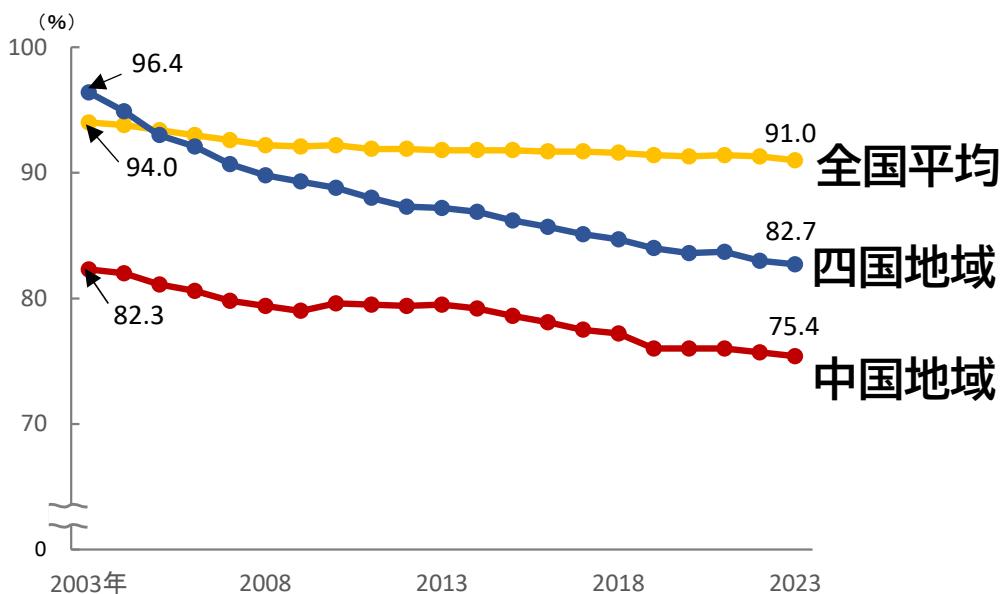
耕地面積の推移

耕地面積は、2003年から2023年の20年間で、全国及び中国では約1割、四国では約2割減少しています。



耕地利用率を見ると…

耕地利用率は、2003年から2023年の20年間で、全国平均が3.0ポイント、中国が6.9ポイント、四国が13.7ポイント低下しており、中国、四国ともに全国平均を下回っています。



注) 耕地利用率とは、1年間で同一の農地に作物を何回作付けるかを表す指標です。耕地面積に対する作付延べ面積の割合で計算し、全ての農地が年1回利用されれば100%になります。